



# Enjoy Area Fishing 最高！管理釣り場

最近の日刊のむら日記(弊社HP)によく登場するトラウトフィッシング。私は2012年の春頃にトラウトフィッシングデビューし、それから管理釣り場(エリア)※通いが始まった。かれこれ6、7年経つが、昨年からこのトラウトフィッシングにさらに熱が入った。その理由の一つに、ネット上のある動画を見て、自ら勉強し始めたことがある。



**野村 尚弘(タカヒロ)**  
日本新聞印刷株式会社  
営業部 部長  
1975年(昭和50年)  
6月18日生  
埼玉栄高校卒(テニス部)

に動かすことで、『釣れ遅さで逃した魚もいたのた』というよりも『釣った！』という満足感を得た。以前より、より楽しめ、より真剣にトラウトフィッシングというものに向き合えるようになった。

くため、通常は横にルアーを動かす。しかし、エリアでは、ペレットと呼ばれる人工のエサを主に食べて育った養殖の魚たち。それゆえ、食べ慣れたエサの動きと同じく沈むような動きをルアーにさせる極意を学んだのである！ルアーを意識的



溪流の管理釣り場

た。今年目標は『3桁』。この目標達成のためにも2019年は昨年以上に管理釣り場へ通う回数が増える事だろう。日本新聞印刷社員のみなさん、ご協力よろしくお願ひ致します。

※ 管理釣り場 (エリア)



店・バーベキュー場・キャンプ場などの設備を併設している場所もある。管理されているフィールドは池タイプと溪流に分類される。サケマス魚類が放流されている管理釣り場では原則キヤッチ&リリースであるため、魚をキスつけないよう針に返しがないものを使う(このため難易度が上がる)スポーツフィッシングではあるが、釣った魚の持ち帰りができるエリアもある。ルアーフィッシングとフライフィッシングを兼しむための釣り場が多い。

## 最寄り駅は高輪グレートウエイ

日本新聞印刷は正直駅から遠い。鉄道路線図を見た外国人が、ニックになるくらい、世界一複雑かつ緻密な電車交通網が張り巡らされている花のみやこ大東京。さらにはその中心ともいえる港区にある会社だというのに、最寄り駅から会社まで15分以上も歩くという現状は残念極まりない。

ちなみに、田町駅と品川駅以外で、会社から近い駅がもう一つある。都営地下鉄の『泉岳寺駅』(徒歩10分くらい)だ。しかし諸事情(品川お化けトンネルで検索)により、ほとんどの日本新聞印刷利用者が泉岳寺駅を使っていない。あと

超えたとか。我々日本新聞印刷としては、徒歩5分圏内に駅ができることだけでうれしすぎるため、新駅の名前などは大した問題ではない、と言いたいところだが、やはり『のむら通信』を押し入っているから、できいな情報はじゃんじゃん公開していきたいと思ってる。とにかく、新駅『高輪グレートウエイ』は2020年に開業予定なので、



建設中の高輪ゲートウェイ駅(2019年1月現在)

は会社の近くには品川駅と田町駅へと運んでくれる都営バスの通る『高輪橋バス停』があることはある。だが、バスは本数の多い時間帯(なぜか午前9時台)で10分に一本ペース。少ない時間帯は大体の時間帯)だと30分に一本のみ。駅まで歩いてしまった方が断然早い。結果的に日本新聞印刷の社員たちは毎日歩いて会社と田町駅、又は品川駅間を往復している。日頃の運動不足を補う上で、ほど良いワークアウ



印刷の事なら私たちに  
お任せください  
http://nihon-shimbun.com/